

学 位 論 文 要 旨

氏 名 蔭 木 原 洋

題 目 「海域史から見た17世紀台湾ーオランダ東インド会社,鄭一族を通してー」

学位論文要旨 (和文2,000字又は英文1,000語程度)

本研究の目的は,17世紀の台湾を「海域史」の立場で概観し,その歴史的意味を問うものである。

17世紀の台湾が,東アジア・東南アジア海域での重要貿易拠点となったのは,明朝の海禁政策と表裏をなす,「化外の地」タイオワンの「出会い貿易」にあった。この「出会い貿易」は,17世紀の東アジア・東南アジア海域でのドル箱貿易である,中国生糸・絹織物と日本銀との中継貿易であった。この「出会貿易」の主役となるのが,倭寇の流れをくむ海賊・海商で福建華人ネットワーク出身の鄭芝龍・鄭成功と,漳州幫のハンプアン,ヨーロッパの海洋勢力を代表する当時の多国籍企業・VOCであった。

タイオワンの「出会い貿易」は,VOC台湾商館が,福建華人海商に支払う,日本からの現銀調達に間に合わなくなり,崩壊の危機に直面した。VOC台湾商館は,「出会い貿易」を守るためと,拠城ゼーランディア城の修築資金の現銀を手に入れるために,なりふりかまわぬ植民地(領土)政策を遂行した。これは海域史の視点から見ると,海上と陸上の相互作用であるといえる。VOC台湾商館の植民地(領土)政策は,大量の福建移民を受け入れ,定収入として,人頭税(現銀)と賤金を得ることに成功した。また,投機的な「探金事業」に,VOC台湾商館の植民地(領土)政策が象徴されていた。しかし,そのような状態は長続きせず,「出会い貿易」の崩壊によって,VOCにとって台湾は,植民地(領土)のみの存在に移行していくことになった。しかし,このVOC台湾商館植民地(領土)政策は,後の「国姓爺海上王国」にとっては大きなものになった。「化外の地」タイオワンでの「出会い貿易」の仲介で活躍したのが,「出会い貿易」を復活させた漳州幫のハンプアンである。「出会い貿易」に期待した福建海商により,一時に大量の中国生糸・絹織物がタイオワンに入ってきた。その結果,日本からの現銀調達が間に合わなくなり,ハンプアンは,そういった中で漳州幫の利益を守ることを第一にして,VOC側に立ったために,福建海商(泉州幫)から見放されていた。そしてハンプアンの溺死後,福建・泉州幫のリーダーで,「出会い貿易」によって海賊・海商から明朝の実力者となった鄭芝龍が,対日直接貿易に踏み切ったことで,「出会い貿易」は崩壊した。鄭芝龍はハンプアンの死後は福建・漳州幫もその支配下においた。

鄭芝龍は,海賊を統一し,圧倒的な軍事力を武器に,中国国内では,福建(厦門,安海)から南京までを支配した。そして,中国生糸・絹織物⇄日本銀というドル箱貿易を中心に,自己の支配する福建華人ネットワークを生かして,マニラ,バタヴィア等の東南アジアへの貿易をおこなひ,東アジア・東南アジア海域は「鄭芝龍旗」による安全・安心な海域を形成し,「鄭芝龍海上

たのである。鄭芝龍は、清朝による南京陥落、そして福建の中心都市である福州も奪われた後、清朝に帰順する。そして対日直接貿易には、南京商人も参入することになった。

鄭芝龍の息子である鄭成功は「鄭芝龍海上王国」を引き継いだが、福建華人ネットワークの信頼度が薄かった。タイオワンでも、「鄭成功海上王国」離れを引き起こした。鄭成功は、「国姓爺」を名乗ることで、「権威」を基盤に、新たに「国姓爺海上王国」の建設を目指した。国姓爺は、「海上王国」の形成のための支配権威と大義名分のため、布告文を出すなど従来の福建華人ネットワークに対する取り決めに「明文化」することによって、再度福建華人ネットワークに対する自身の影響力を強めようとした。国姓爺は、経済基盤を奪還するための南京攻略の失敗後、「海上王国」は経済面（特に軍の食糧不足）で、非常に苦しい状態となった。さらに、清朝の遷界令が追い打ちをかけた。「国姓爺海上王国」は、タイオワンの福建華人コミュニティーの最有力者である何斌の誘いに乗って、台湾侵攻を実行するしかなかった。国姓爺の台湾侵攻は苦戦しながらも成就したが、思ったほどの食糧は手に入らなかった。国姓爺は次のターゲットとして、マニラ侵攻を計画途中で急死した。この後台湾は、国姓爺の死後、息子の鄭經の時代になって、国姓爺の意志を継いだ部下の陳永華による努力の結果、中国生糸を、清朝国内の三藩との密貿易、またマニラとの関係を修復後、マニラの福建華人海商からの買い取りを行って、長崎に転売し、「貿易国家」としての地位を取り戻した。「領土国家」としては、引き続きVOCから継承した台湾の農地開発を推し進め、米、商品作物である砂糖、また鹿皮等も、長崎を中心に東アジア・東南アジア海域諸国に輸出した。また、イギリス東インド会社と組んで、東アジア・東南アジア海域の全盛期を演出し、台湾は、「国姓爺海上王国」＝「福建華人ネットワーク」の本拠地として繁栄した。